

## 令和8年度事業計画

総務省統計局による人口推計では、日本の高齢化率は、2025年10月1日現在で29.3%に達しています。65歳以上の人口は3,624万人で、総人口に占める割合は過去最高となりました。また、75歳以上の人口も増加しており、全体の高齢化が進んでいます。

全国において高齢化が進展する中、シルバー人材センターを通じた高齢者世代の就労は、現役職業生活引退後に充実した生活を送るための有力な選択肢であるとともに、健康の保持増進や地域社会の活性化に大きく寄与するものです。

高年齢者雇用安定法の改正や年金の支給年齢の引き上げなど、高齢者世代を取り巻く環境が転換期を迎えている中、令和8年度は昨年度に引き続き、次の4つの施策を主に推進してまいります。

### ○推進施策

1. 会員数の拡大
2. 安全・適正就業の推進
3. 自主事業の活性化
4. 運営基盤の充実

### ○推進施策の実施内容

#### 1. 会員数の拡大

事業主に対する雇用機会の確保措置が延長されたことや年金の支給年齢が65歳に引上げられたことにより、60歳を過ぎてからもフルタイム勤務を望む人が増えています。そのため、シルバー人材センターに入会する者の平均年齢も上がっていますが、後期高齢を迎えても第一線で活躍されている会員はたくさんみえます。

地域の高齢労働力に対する期待に応えるため、高齢者の社会参加を促すとともに、高齢者世代のニーズに沿った就業先の発掘や就業機会の創造に努め、会員数の拡大を図ります。

※令和8年度末目標：会員数575人

※具体的取組

- ①愛シ連やハローワークが行うPR事業への参加
- ②公共施設や広報媒体によるPR事業の実施
- ③新たな受託に向けた半田市との協議
- ④会員からの紹介による会員登録事業の継続

## 2. 安全・適正就業の推進

令和8年2月末現在の事故件数は、賠償事故5件、傷害事故4件、交通事故0件の合計9件でした。就業会員の高齢化や夏の猛暑など、就業環境はかつてとは一変しており、ちょっとした不注意が大きな事故に繋がりがねません。一方、現在の請負契約の中には、指揮命令や施設管理業務において、業務内容の精査が必要な契約があります。

令和8年度も安全就業の徹底に取り組むとともに、適正就業に向けた発注者との協議を進めてまいります。

### ※具体的取組

- ①猛暑日（熱中症警戒アラート発令時など）の就業ルール策定
- ②作業機器の使用ルールの策定
- ③安全パトロールの強化
- ④請負契約の精査と発注者との協議

## 3. 自主事業の活性化（喫茶「楽」・シルバー農園）

令和7年度の喫茶「楽」は、お米を始めとする材料費の高騰に悩まされました。しかし、お値打ちで美味しいと評判のランチや、イベントに合わせた休日営業などにより、売上額は伸びています。また、評判のランチは会員のやりがいにもなっています。

生きがい就業のモデルとして、従事する会員が楽しみながら、お客様にも喜んでもらえる店舗運営に努めてまいります。

※令和8年度目標：来客数6,500人（令和6年度実績6,389人）

### ※具体的取組

- ①衛生管理の徹底と居心地の良い店舗運営
- ②メニューやサービスの改善

「野菜作りは土作り」を実践してきたシルバー農園は、会員による継続した土壌改良により、野菜が順調に育つようになりました。また、用水設備のない農園ですが、大きな水槽2槽を無償で譲り受けることができ、真夏の水遣りに大いに役立っています。

天候やマンパワーに左右される自主事業であり、売り上げも僅かな状況ですが、生きがい就労のひとつとして、会員間の連携を深めながら、美味しい野菜の栽培と売り上げ向上に努めてまいります。

※令和8年度目標：売上80,000円（令和6年度実績：78,996円）

### ※具体的取組

- ①収穫高と品質向上のための検証と実践
- ②新たな販路の開拓

#### 4. 運営基盤の充実

令和8年度は、新契約方法に移行する年であるとともに、公益法人制度も改正されるなど、当センターにとって大きな変革の年となります。一方で、会員の年齢構成の上昇や諸物価の高騰、また老朽化した備品・設備への対応などは、日常の業務に様々な影響を及ぼしています。

これらの課題の解決に向け、当センターの将来を見据えた長期的な視野に立った制度の策定や財政基盤の強化に引き続き取り組んでまいります。

##### ※具体的取組

- ①第2次中期計画に則った諸規定の見直し
- ②半田市との継続協議（受託事業、財政状況、事務所の在り方など）
- ③デジタル化の推進（Smile to Smile 登録率 40%へ）